修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8−7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

東京・中学校の実践にきく

望ましい修学旅行

座談会

＜2＞

出席者（敬称略・順不同）

中野区立第八中学校長・東京都中学校修学旅行対策委員長　小春吉敏
中野区教育委員会指導主事　三井知夫
福生市立第二中学校教頭　相沢周三
新宿区立落合第二中学校教諭　川本進
荒川区立第四中学校教諭　宮沢義美
大田区立安方中学校教諭　島根芳
財団法人・全国修学旅行研究協会理事長　山本種一
中野区教育委員会教育委員長・（財）全国修学旅行研究協会東京都支部長　青山良道
財団法人・全国修学旅行研究協会事務局長　白滝末紀

計画は全校を挙げて

小春　新しい教育の観点から何を修学旅行に求めるのかを分析してみる必要がありますね。つぎに具体的な目標設定を考え、それを達成するために内容、コースを系統的に再検討していく。

三井　学校教育には目標がありそれに関連する修学旅行だというとらえかたをしないと、とかく修学旅行だけがかけ離れていく傾向が生じる。ほかの学校行事との関連のなかで、十分な目標の把握、事前・事後の指導などがなさなければならない。現在の教育課程はきっしりとつめられ、生徒たちにとって息苦しい状態なのですが、そのなかで修学旅行という、とてもうるおいのあるすばらしい豊かさを身につけさせる絶好の機会ではないかしら。その意味からも充実した校外学習としての修学旅行であると考えたい。

小春　今春、東京都では二百七十三の中学校が実施したが、このうち十二校は東北方面へ、あとの二百六十一校が京都、奈良あるいは飛鳥へいった。東北だからといって学校のねらいが違うとはいえないけれど、奈良、京都へいった学校はだいたいのねらいを持っていたに違いない。そこでさらに修学旅行の使命などについて。

島根　どの方面であろうとも修学旅行の目的は達せられるでしょう。集団行動あり、先生と生徒との人間的な関連もあり、また、社会科的、理科的、美術的なものなど、いろいろあるけれど、すべてをやっていかねばならぬものではない。学校の教育目標に合っていなければならないし、これからはずれた修学旅行などは全然考えられません。

宮沢　事前に目的をはっきりさせておき、何回にもわけて学級ごとに話しあう。現場にいったらあとは生徒の自主的な活動にまかせる。もちろんそれはおぼろげでも差支えない。昨年から奈良公園ではガイドを廃止し、グループにわかれて自由に見学させた。京都では二つの希望コースだったが、自分の選んだ目標に満足し、得るところがあったと思うのです。こんなところにも修学旅行の使命があるのではないでしょうか。

相沢　大前提に立って教育目標をふまえなくてはいけないと思います。教育目標が修学旅行のなかにどう浸透し、具体化されていくかということですね。しかし教科領域との関連のなかで考えていくと、教科課程とのつながりの点などでは非常にあいまいだ。つまりそれが停止しているにもかかわらず修学旅行だけは別だという形で進められている。先生たちの協力態勢も薄らいでくる。だから生徒に主体性を持てとか、意欲的にやれとかいっても、二三の先生が走り回っているだけで、あとの先生は無関心になってしまうのです。修学旅行が教育課程に位置づけられていることから先ず考えるべきでしょう。たとえば一つの仏像を見せて教え込むのではなくて、その目標に照らして滲み出てくるもの、それらの背景から見方や考え方の助言指導がうまれてくるのではありませんか。見学地の精選についても数を少なくして時間的なゆとりさえ持てば生徒がより主体的になるとはいえない。この観点から見学地の選び方を考えたい。そのような目標に照らして内容の組織化ができてくるのではないでしょうか。

ふえる現地の分散型

島根　うちの学校のばあい、修学旅行委員会という名称のものはないけれど、夏季行事や遠足でも計画段階で常に横の連絡がよくとれている。例えば「こんなところはどうだろうか」などと、意見がたくさんくるのでよい参考になる

川本　生徒に自主学習をさせるにしても、教師自身がよく理解してかからねばならぬということ、また、相当な事前指導をやらねばならないので、だいぶ先生がたも勉強させられる結果となった。ここに持参したスクラップ・ブックは、片面が事前に学習したもの、片面は学習の結果——つまり事後の学習を並列させた。ねらいをきめてからコースを作ったわけです

小春　三年生の修学旅行であっても全校で一つの組織を作り、コースを作成するのはよいことですね。めまぐるしい学校での生活のなかから、そういう体系はよいと思っても、結果的にはどうしても学年セクトができてしまい、相談を持っていっても身を入れた返事が戻ってこない。従ってどこの学校でも一つの歴史的な流れを持っているのだから、シオリや関係書類を残しておくと思うが、なかなか全校一致の取り組みは、しにくい状態ですね。それが定着していくと、しだいによりよいものができていくのではないかしら。

相沢　たとえば社会科とか美術の先生が見学地について強く発言する傾向にあるばあい、それらの教科のためのコースとなり、理科や体育の先生はつい不満を持つようになりますね。

小春　むかしの修学旅行は与えるものだったが、最近では求める形に移っている。そのため駈けあしだったのが、今では精選される結果となったのではあるまいか。京都では万博いらい交通がひんぱんで、それに伴って規制もきびしくなっているので自然に見学地も少なくなってきた面もあります。

相沢　コースの基本的な考えかたについては、十分に話しあう必要がありますね。ことし、見学地に清水焼きの団地を入れたが好評だったのです。生徒の焼いた品物を、あとから送ってくれるんですね。見学するのは生徒なのですから、おとなのように、あの仏像この仏像となるとお寺まいりばかりで、子どもの心にそわないのではないかしら。陶器の製造を見学するとか、じぶんで実際に作ってみるとかを組み合わせると印象が残るのではないかと思います。

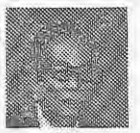
小春　さいきんではコースの選択ということと、グループ別に勉強するという傾向が強くなってきているようだ。私の学校でもこの方向でやっているが、とくに京都の場合は交通規制もあり、バスが五台ともなれば、なかなか進まず先頭の車はあとの車を待っていなければならぬことも起る。非常にロスが多いのですね。一台か二台ぐらいで、三方面か四方面だと時間的な余裕ができ、子どもにとっても十分な事前の理解が深まる。帰校後の反省で、じぶんの選んだコースを自慢しあっている…。真剣に勉強してくるようになると思います。

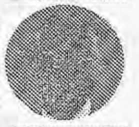
相沢　奈良公園を三、四名のグループで自由行動にし、なん時に南大門に集まれとして離してしまう。そうなると生徒は勉強して、奈良公園ではどこへ行こうかなどといって、地図をみながら調べている。先生は生徒を離すと何か起るのではないかと不安が先に立つようだが、あまり親切すぎてもいけない。流行語でいうなら、仮説をたてて実際に検証するということになっていけば、かなり意欲的な学習になる。仏像の前に立てば昔の人はこれを見てどう感じたか——。そんな感情があるていど出てくるのではないかしら。見学地を生徒に選ばせ、それを調整しながら集約したらよいと思いますね。お膳立てをしてやる昔の修学旅行方式が、まだまだ残っている感じです。

小春　優秀な子どもと、多少おとっている子どもとのかみ合わせをうまくしないといけませんね。出掛けてはみたものの、方向はわからぬし、また道をたずねようともしない。集合時刻に遅れたりすることがあるので、こまかい配慮がないと危険を伴なう場合もあります。今までのような奈良、京都に限られたものから新幹線利用で余裕のできた半日分を、たとえば飛鳥とか新しい場所を選び出したり、くふうを凝らすというようになってきた。中野区内の中学校のアンケートを見ても、過去の固定されたものから、だんだん範囲がひろがっていく傾向にあります。それはそれなりの収獲があるし、子どもがどう受けとめるか、少しでも心に残るものがあるとすればそれで目的は達せられるのではないでしょうか。

以上、修学旅行の対策のうち実施上について話し合ったのですがこれから問題はさらに複雑になると思います。（つづく）

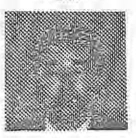
出席者
（順不同）


山本　種一氏

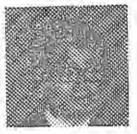

小春　吉敏氏

三井　知夫氏

相沢　周三氏


川本　進氏

宮沢　義美氏


島根　芳氏

青山　良道氏

白滝　末紀氏

日本の旅　世界の旅
電算機がお手伝いする
ひまわり窓口
近畿日本ツーリスト

風紋

先頃、岐阜を訪ねた。金華山のふもとにある常在寺は日蓮宗の古刹で斎藤道三が日運上人を頼って足をとめ美濃盗り構想を練ったところだという。▼いま、国盗り物語ブームで百円也の拝観料?をとって門前市をなす盛況で道三公画像などを見せているが、NHKの大河テレビが放映されない前は寺門を閉じてひっそりと、かくれていたというから面白い▼美濃一国を盗みとった大悪人という汚名の永い年月の間、肩身せまくひそませていたのであろうか▼それが司馬遼太郎氏の小説とテレビで、歴史は書きかえられ脚光をあびたのだ。日本の歴史第一巻「倭国の誕生」のはじめの項で著者の直木孝次郎氏は「歴史は書きかえられる」と述べている▼歴史事実の一面をしめす史料から歴史の全体像を再構成の過程に歴史叙述者の判断がはいる…記述された歴史…再構成された歴史像が記述者によって異るゆえんであるとして、日本書紀、神皇正統記、明治以降の皇国史観について論じている▼常在寺のはなしはむずかしい話でなく、歴史は時代によって変るという平俗な一事例にもなると思う。国盗り物語のテレビもいよいよ本能寺の変のヤマ場に近づいてきたが、岐阜城物語という本によると「光秀がこのような処置にでたことは、やむにやまれない正当防衛といわねばならない。信長を殺したのは信長であり、光秀を殺したのはまた信長であるという見方も成りたつのではあるまいか」と書いてある▼この本は、郷土史家森浩氏が史実を基にして書いたもので、斎藤道三が極悪非道の人物として、これまで悪将列伝のなかに埋没したのを戦国乱世に生きた人間として再評価したもので、司馬史観がこれをとり入れたようである▼秋陽のなか、金華山頂の新岐阜城で、遠足の小学生が先生のお話を聞き入っていたが、この子たちがやがてどういう戦国史を再構成するものだろうかと、思ったことであった。

いらっしゃいませ
国定公園
近江路の旅へ
収容　800名様
食堂　550名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目1−4　電話　大津（0775）24−2321

修学旅行の学習効果向上のために
全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
● 一般客との混乗がありません
● 船内での学習や研究ができます
● 海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！
関西汽船
● お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

推薦作品には高野氏

研修旅行写真コンクール

北海道知事賞　尾中氏

北海道観光連盟賞　大仲氏

ことしの研修旅行写真コンクールの応募作品は昨年度を上回わる六百十五点に達した。優秀な作品が多く、審査委員会では長時間にわたって慎重な審査を行なった結果、推せんに東京・高野一重氏の「四国の太平洋」特選に新潟・山田年男氏の「愛情の表現」、北海道知事賞には山口・尾中文夫氏の「研修旅行、ぼく元気」また本年から設けられた北海道観光連盟賞には大阪・大仲茂男氏「硫黄山」が獲得、そのほか入選五名、佳作二十名がそれぞれ決定した。総評および入賞作品、氏名、住所は次の通り。（敬称略）。

北海道知事賞「研修旅行、ぼく元気」尾中文夫氏（山口県）

総評

時間的、地理的な制約、あるいは天候に左右されがちな諸条件のもとで行なわれる研修旅行の写真コンクールは、〃偶然〃が大きな影響をもたらします。そのような運不運が伴なうにも拘わらず、ことしは昨年にくらべ、質的に向上した立派な作品がたくさん集まりました。しかし、なかには、ねらいの定まらないもの、あるいは何を表現しようとしたのか不明な作品なども目立ち、残念でした。毎年のことながら題名のつけかたもコンクールには大きな条件になることを銘記していただきたい。また、規格外のトレーミングや規定サイズ以外の作品のあったことも付記しておきます。入賞者に対してはお喜びの言葉を捧げるとともに、残念にも選に洩れた方々には来年を期していただきたく切望しております。

推せん（賞状と賞金一万円）

「四国の太平洋」高野一重（東京都杉並区松庵一ー三ー一七）

【評】仕上げに苦労のあとがみえています。たとえば引き伸ばしの際のトレーミング、新材料の印画紙使用など凝った作品で、南画的な趣きを持っているのが特色といえましょう。しかし、下部の余白は不要で、画面のサイズは守っていただきたいと思います。また題名も一考を要したいところです。（掲載の写真では下部の余白をカットしました）

特選（賞状と賞金七千円）

「愛情の表現」山田年男（新潟県上越市西城町二ー九ー三）

【評】シャッター・チャンスと色調、構図はすぐれていましたが少しかたい感じがします。惜しいことは、人間の無表情とサルの動きが停止している点で、そのためものたりなさが出てしまいました。

北海道知事賞（賞状と記念品）

「研修旅行、ぼく元気」尾中文夫（山口県山口市後河原片岡小路一八九）

【評】なんといっても子どもの表情をうまくとらえたことに尽きます。おとなたちは疲れはてた顔で、まったく題名どおりです。構図は無難ですが、カメラが少し左まがりになったのは残念です。研修旅行のスナップとして、そのふんいきがみごとに生かされています。

北海道観光連盟賞（賞状と記念品）

「流黄山」大仲茂男（大阪府堺市小代一三三）

【評】噴煙あがる硫黄山を背景とし、ひとりの人間を中心にねらったことが成功しました。北海道特有の広大さが感じ取れ、カラーのバランスのよかったのも入賞の要因といえます。

北海道観光連盟賞「硫黄山」大仲茂男氏（大阪府）

入選（賞状と賞金三千円ずつ）

▼「店頭にて」河片保之（滋賀県大津市中庄二ー一九ー一七）▼「母さん、あれが網走刑務所」西田弘（富山県氷見市伊勢大町二ー一六ー一三）▼「青島ひとどき」相馬斉嗣（青森県弘前市文京町六ー三〇）▼「水車」帆足篤治（福岡県嘉穂郡穂波町忠隈二一二）▼「無題」嶋津佃郎（東京都豊島区巣鴨四ー三ー一一）

佳作（賞状と記念品）

▼「屈斜路湖の砂湯」川附美登里（岐阜県益田郡小坂町小坂）▼「雨上りのひと時」林助三郎（奈良県古野郡吉野町飯貝）▼「硫黄山」筏進治（大阪府堺市七条通二一ー六）▼「一ノ関厳美渓」日向直一（滋賀県大津市石山平津町五三七）▼「日本観光」尾崎進（和歌山県日高郡南部町七九）▼「黒部ダムの偉大さ」内田ふさ江（千葉県松戸市胡録台九三）▼「鬼が城」菅野文男（山形県寒河江市中央一ー一ー四五）▼「霧雨のあいまの石北峠」富田栄（三重県伊勢市河崎二ー六ー一）▼「高野山にて」新井昭（千葉県千葉市あやめ台団地二ー七ー一〇三）▼「洞爺湖の夜明け」救仁郷和一（東京都武蔵野市境五ー六ー一四）▼「むれとぶ海ねこ」岩崎登志子（三重県津市南新町一ー一三）▼「函館のいらか」高井清（兵庫県姫路市西庄二一五）▼「ただいま」大鹿猛（群馬県藤岡市緑町）▼「み橋・伊勢内宮」村上九四郎（栃木県那須郡西那須野町下永田区九八一ー五二）▼「層雲の岩肌」天本正幸（福岡県甘木市恵比須町一八八）▼「歓喜」井手本治（北海道芦別市西芦別町公住）▼「銀河の滝」小池志津香（兵庫県明石市太寺二ー一ー二）▼「橋杭岩の奇観」菅野文男（山形県寒河江市中央一ー一ー四五）▼「見学」帆足篤治（福岡県嘉穂郡穂波町忠隈二一二）▼「天草五橋展望」相馬斉嗣（青森県弘前市文京町六ー三〇）

推せん・四国コース「四国の太平洋」高野一重氏（東京都）

特選・九州コース「愛情の表現」山田年男氏（新潟県）

研修旅行の作品

山陰の旅

井上　酉三

緑濃き夏の山々林立の
石炭岩柱きらめけり
大小のドリーネありてその深さ
数十㍍に達したる
カルスト地形の秋吉台
三億五千万年より二億年
前の生成海の底
化石も新旧位置をかえ
地殻の変動示したり
地下の洞窟二百十
中の特天記念物
秋芳洞は世界的
東洋無比の大規模なり
十㌔（粁）の延長あるも見学は
一㌔（粁）にして四十分
青天井に大黒柱
洞内富士や百枚皿
千畳敷と黄金柱
十万年を越えたりし

巌窟王は仁王立ち
造形の妙極まれり
沈水島の青海（おおみ）島
北は断崖・海食洞
石柱などの奇勝にて
南に緩斜・平地あり
集落なして賑わえり
周囲三十六㌔（粁）は
遊覧船の百分間
長門湯本は山あいの
言信（おとずれ）川辺の温泉で
六百年前の開発なり
水産加工・夏みかん
「一楽二萩三唐津」
朝鮮役の名残りにて
陶工李敬の始めたる
名特産の焼物に
支えられたる萩の町
慶長九年輝元公
指月（しづき）の城に入りしより
三十六万九千石
城下となりて二世紀半

防長二州の藩治たり
親思う心にまさる親心
今日のおとずれ何と聞くらん
幕末維新を初めとし
活躍したる多士済々
米を搗きつつ松陰の
教を授けし学び舎（や）は
当時のままの姿なり
山紫水明小京都
津和野盆地の町並みに
風情をそうる鯉魚の群
自由行動一時間

訪ねし旧師白髪も
喜寿も知らざる健やかさ
城山の頂き高く仰がるる
石垣残す城址には
元冠以来七百年
浮沈の歴史伝えたり
光沢ありて赤色の
石州瓦輝きて
急斜の屋根を飾りしが
石見国に来て見れば
さすが本物の感深し　=つづく=

（三島市南田町）

あるくみるきく

ささやかな冊子の名前です。書店にも出さず、これといった広告もしてきませんでした。でも、熱心な読者に支えられて、もう5年も続いて発行しています。旅をする人、土地に住む人の目を通して、その土地のあるべき姿を正確にみつめていきたい──小さな冊子にそんな大きな夢を託しています。
●年間講読料 700円(〒共)近畿日本ツーリストの各営業所が、直接当研究所宛に現金または切手でお申込み下さい。
●見本をお送りします。

日本観光文化研究所
東京都千代田区神田松永町11－2　近畿日本ツーリスト内　TEL (03)255-7111(内)274

若い時の思い出に30時間の楽しい旅

苫小牧⇔東京　毎日就航

日本沿海フェリー

本社／東京都港区新橋1.10.7(大和銀行新橋ビル)☎(03)573-1911
札幌支店／札幌市中央区南大通り西10.4(高橋ビル)☎(011)261-6321

東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。

東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

東京　コマ旅行会館